

2021年度 第11回理事会議事録

2022年2月10日（木）19時30分、WEB上にて理事会を開催した。

定刻に、理事 伊藤伸が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	27名
本日の出席理事数	23名
監事総数	2名
本日の出席監事数	0名

■出席役員：会長）宇田英幸、副会長）伊藤伸、副会長）茂木有希子、理事）赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、押野修司、北村ミチル、小池祐士、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、鈴木真弓、鈴木康子、高橋啓吾、高橋暢介、野村健太、原裕如、平田樹伸、逸見康子、丸達也、安永雅美、渡部慶和

■委任役員：岡部拓大、田坂翔太、神山真美、吉田朋子、監事）川俣実、土屋美樹

■欠席役員：

■他出席：北部ブロック長）後藤 昂 法人管理部）駒崎かんな

敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第1号議案 第10回 理事会議事録について【法人管理部：安永】（資料1）

議事録の内容を確認し、満場一致で可決された。

第2号議案 2022年度予算案について【財務部：北村】（資料2）

2月8日に全部局の2022年度予算案の提出を確認した。単年度の予算で約150～160万となる。

2021年12月末～2022年3月末の支出額約300万円を加味し、来年度の予算への繰り越し金額は約840万となる見込み。

各部局に対する来年度の予算についての提案は青字にて記載。提案した部局に内容の確認をした。

法人管理部：会議費・通信運搬費・消耗品の確認。消耗品費についてパソコン1台の追加購入を検討しているため、今年度と同じ程度まで増額希望。

学術部：会議研修手当について研修会の回数増加に伴い、計上額も増加。

養成教育委員会：世話人謝礼は別枠、接続テスト回数を減らすことを反映して計上する。

地域包括ケア推進部：提案通りで可。

選挙管理委員会：今年度は役員選挙と代議員選挙が重なり支出が多かった。次年度も今年度を参考に計上する。

運転管理：提案通りで可。

ここから：旅費・交通費は内訳の通り。記載額通りの計上を依頼。

学会の予算について：会員の参加費は今年度無料だったため、来年度も今年度同様無料にする。

（今年度の決算額が52万弱であったため、参加費収入の部分の予算額14万円を無料にし、県士会補助金の38万円分に14万円を加算し、調整を図る方向。）

上記部局の意見をもとに2022年度予算について再調整しBANDにて告知する。継続審議とする。

第3号議案 広報誌「彩り」2021年度ダイジェスト版（小冊子印刷）配布の件【広報部：伊藤】（資料3）

年4回（春・夏・秋・冬）発行済み。ダイジェスト版を印刷し各職場に2部ずつ配布する。

郵送のタイミングは、春先に未納者への通知とともに送付する。養成校でオープンキャンパスで配布できるとよい。部数については1000部程度で設定し、配布することで満場一致で可決された。

第4号議案 今月開催する研修会の参加者の対応について【西部ブロック：逸見】

埼玉県士会員限定と表示した研修会に、都士会員1名の申し込みがあった。今回は、県士会員無料という記載で、非会員価格は記載されていなかったため、無料対応とする。ただし、生涯教育ポイントについては対象外であることを伝えることで満場一致で可決された。

なお、今後の方針について、研修会告知申し込みフォームに埼玉県士会員・非会員の欄を設け、非会員が対象でない場合にはわかりやすいよう「受講できません」などの文言を付け加える、会員無料の場合の非会員の参加費は埼玉県士会員基準（90分1000円）の半額としてはどうか、という意見が出された。

第5号議案 アンケート調査報告書と事業所一覧の県士会 HP の掲載方法について【高次脳：渡部】

定期便にてお知らせとして掲載し、常に確認しやすいように独自ページを作成してHPに掲載することで満場一致で可決した。

II. 報告・確認事項

1. 各部署活動報告

1) 事務局：大橋事務局長より以下の報告があった。

2月21日（月）埼玉県リハ3団体連絡会議開催予定。

事務部職員求人応募者1名あり、採用予定。

2) 法人管理部：安永部長より報告事項なし。

3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

定期便は1月20日締め切り、2月1日を目安に配信予定。

1月の臨時便配信の頻度が多かったため、時期を区切るのを検討する予定（10日区切り等）。

この件について、カテゴリー分類（締め切り間近、新着情報）と研修会参加申し込み空き状況などを載せる、配信情報初掲載時は丁寧に記載するが、掲載2回目以降の広報となる研修会については情報を少なくしてもいいのではないかといた案がでた。本件について一度広報部で話し合いを進めていく。

4) 財務部：北村財務部長より以下の報告があった。

会費未納者（1月末）は3年未納が17人、2年未納が26人、1年未納が158人の計201人。

5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

1月28日に第3回研修会がウェビナーにて開催された。事前受付201名（会員外15名）。

当日参加はキャンセルも数件あり、最終的にポイント申請した方は参加者158名。アンケートでは、満足度は「非常に満足」が80%、「満足」が20%（回収率66%）。実技の動画の使用は大変好評だった。Q&Aで寄せられた質問をチャットで共有し、スタッフが読み上げご回答いただく方式は問題なかった。スタッフの機転により実演で示したことが好評であった。オペレーターのウェビナーの操作は大分慣れたが、ビューの切り替えが遅れたので見えていない部分が生じた点は今後改善していきたい。

6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

第31回埼玉県作業療学会2月28日まで演題募集中（現在9件：東部2件、西部4件、南部3件）。演題査読中。

7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

2月10日 19:00-20:30 協会生涯教育推進担当者会議に鈴木香織理事が出席。次回理事会で報告する。

8) 生涯教育委員会：神山理事欠席だがBAND上で以下の報告があった。

3月下旬～4月で現職者選択研修会を企画中。

身体障害領域1日4テーマで計画。講師紹介および依頼を至急行う予定。

9) 養成教育委員会：岡部理事欠席だがBAND上で以下の報告があった。

5月14日・15日の講習会の一般枠募集（45名）を2月7日より開始し、63名の申し込みがあった。（OT会員45名非会員13名）今後選定予定。

個人的な印象では、申し込み者のペースが少し鈍化している。ある程度充足してきたと感じる。

10) 職能開発事業部：鈴木真弓理事より報告事項なし。

- 11) 広報部：伊藤理事より以下の報告があった。
ロゴマークデザイン募集中。まだ応募者が少ないので、是非とも多くの会員、当事者の方、学生さんに声かけをしてほしい。広報誌「彩り」では、毎号特集記事を作成している。各部局において、当事者の方や一般の方、会員の方々にお知らせしたい記事や、組んで欲しい特集などがあれば、広報部まで連絡してほしい。
- 12) 地域リハ推進部：平田理事より報告事項なし。
- 13) 地域包括ケア推進部：野村理事より以下の報告があった。
埼玉県介護支援専門員協会共催の「作業療法士×介護支援専門員コラボ研修会」をオンラインで実施。当事者・事務局含め 39 名の参加。非常に満足が 67%、やや満足 22%、どちらとも言えない 11%であった。
2 月 26 日に地域包括ケア×MTDLP×認知症コラボ研修を開催する予定。参加者が少ないため職場の方や知人に声かけしてほしい。
- 14) 認知症地域支援推進部：吉田理事欠席だが BAND 上で以下の報告があった。
1 月 30 日「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」に出席した。
- 15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。
2 月 5 日埼玉県災害リハビリテーション研修会 advance コース参加者 8 名参加 (PT3 名 OT4 名 ST 1 名)。
- 16) 制度対策部：石川理事より以下の報告があった。
令和 4 年度 診療報酬改定の基本方針など、診療報酬改定関連情報を県士会 HP に掲載。
回復期リハビリテーション病棟協会主催「2022 年度 診療報酬改定説明会」
(3 月 19 日～4 月 19 日 WEB 研修会 オンデマンド配信)に参加予定。
- 17) 各ブロック
 - ・東部：小池理事より以下の報告があった。
学生との語ら Night ! 3 月平日の夜 2 回で開催。案内開始。
2022 年度 第 15 回リモートで語ら Night ! (当事者講師) 7 月開催検討中。
 - ・西部：逸見理事より以下の報告があった。
M みんなで T とりくみ D だれでも L 楽に P パスしよう！
西部ブロック研修に参加申し込み者は 45 名 夏キャンオンライントークキックオフ会議実施。
 - ・南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。
7 月学会へ向けて、座長の依頼や当日運営スタッフの募集を開始。
来年度の夏キャン開催へ向けて、目白、上尾医専と連携開始。
 - ・北部ブロック：後藤ブロック長より以下の報告があった。
北部ブロック主催の研修会を開催した。18 名申し込みあり。
- 18) 訪問リハビリテーション振興委員会：高橋暢介理事より以下の報告があった。
2022 年 2 月 6 日埼玉県リハビリ三団体主催訪問リハ実務者研修会 Advance コースが無事に終了した。
- 19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より以下の報告があった。
2 月 20 日に MTDLP 事例検討会を実施予定。発表者は 10 名、聴講生が 12 名。
- 20) 子ども支援委員会：田坂理事欠席だが BAND 上で以下の報告があった。
令和 4 年 2 月 20 日の研修会開催予定。最終準備中。
参加者がまだ少ないので興味がありそうな方にご紹介いただきたい。
埼玉県主催の発達障害支援に係る専門職合同研修が開催される。
- 21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。
- 22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。
埼玉県主催令和 3 年度高次脳機能障害に関する医療と福祉の連携研修会は 374 名の参加予定。
アンケート報告書・協力して頂いた事業所一覧の掲載方法について検討。
- 23) 運転再開支援委員会：赤間理事より以下の報告があった。
運転と作業療法委員会による関東ブロック報告会に参加。
埼玉県士会としての活動方針を伝えた。全国的なトレンドとしては運転評価だけでなく、地域の移動手段にフォーカスした取り組みが進んでいる印象だった。
- 24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。

- 4月2日（土）に開催予定のここから OT 室の準備中。来年度から2ヶ月に1回のペースで開催予定。
- 25) 第31回埼玉県作業療法学会：神山理事欠席だが、BAND 上にて以下の報告があった。
案内文とポスターを今月中に配信予定。完成次第、会員への告知を行う。
また県内の学校については、各学校にて PDF 印刷し配布してもらうよう依頼する「予定」。
依頼文発送、運営マニュアル等の作成に着手していく。
- 26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティネットワーク川越：渡部理事より報告事項なし。

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

2月10日（木）令和3年度地域包括ケアシステム推進会議出席。田中滋県立大理事長の特別講演。

埼玉県は医師会、県庁、各専門職団体の連携が進んでいる。

日本地域包括ケア学会を全国で3番目に開催すべきと考える。

在宅医療連携拠点における活動紹介の中に、入退院時連携ガイドライン（所沢市）があった。大東市でも取り組んでいる。

実習指導者講習会が積極的に開催されているが、感染拡大のため実習受け入れ中止になっている施設も多いようだ。学内実習（講義）など協力を考えたい。

会に携わる人集めについては、理事それぞれにネットワークがあるので遠慮せずにどんどん相談して欲しい。

田中理事長も言っていたが、連携は専門職に限ってはいは立ち行かない。民間も巻き込むことが大事。

2) 伊藤副会長

ケアラー支援宣言について、BAND に掲載するため各自確認をお願いします。

3) 茂木副会長

新型コロナウイルスが広がってきておりどこも大変な状況。引き続き感染対策をしていくとともに、困ったことや悩んだことがあったらオンライン会議でも BAND 上でも相談し、支え合っていきましょう。

III. その他

次回理事会：2022年 3月10日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時20分閉会を宣した。

2022年2月10日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会